

3年生のみなさん、こんにちは。今回は進路選択について書いてみようと思います。

さて、志望校を決めるにあたってまず頭においてほしいことを3つ。一つ目は「公立と私立をトータルで考える」です。「私立高校に行くことになってもいいから第1志望校にチャレンジする」のか、「私立高校には行きたくない」ので、第1志望校で無理をしない」のか、けっこう大事ですよ。

2つ目は「高校生になった自分を想像してみる」です。「受験する」ということは、その高校に「進学する可能性がある」ということですよ。特に、第2志望校を決める際には、その高校に通っている自分の姿が想像できる学校を選ぶことが大事です。ほかにも、朝何時に起きるのか、自転車で通うのかバスや電車で通うのか、などなど。受験の日だけではなく3年間通い続けたいといけないのですから、生半可な覚悟ではダメですよ。

3つ目は「高校進学がゴールではない。」です。3年後の進路選択は、より一層「社会に出ていく」ことが具体性と現実味を帯びてきます。そうすると高校卒業後の進路予定も高校選びの大事なポイントのひとつになってきます。同じ普通科の高校でも進学先の大学の傾向はそれぞれ違いますし、倉工も水工もどちらも工業系の学校で学習することはほとんど同じですが、それでも就職先はやっぱり違います。ホームページや学校案内のパンフレットなどで卒業後の進学先や就職先もチェックしてみましょう。

1. 自分は何がしたいのかを考える

漠然と「高校へ行こう」から「じゃあどの高校へ？」と考えてもなかなか決められないでしょう。それよりも「英語を頑張りたい」とか、「部活動にエネルギーを注ぎたい」など、自分がやりたいと思うことをハッキリさせれば、「英語の学習に力を入れている学校」、「〇〇部がある学校」など、具体的に絞り込んでいくことができます。

2. 自分の適性を考える

「手先が器用で機械いじりが好き」な人には工業高校、お菓子作りが好きな人には「製菓科」という学科を設置している高校があります。自分が何に向いているのかと高校の特色が一致すれば、その高校が志望校になる可能性は高いと思います。

3. アンテナを高く

このようなことを考えるためには、やはり情報を広く集める必要があります。もちろん、その情報が正しいかどうかを見極めることも必要です。その方法のひとつがオープンスクールに参加することです。高校の雰囲気や特色だけでなく、通学にかかる時間や周辺地域の様子など、実際にその高校に行ってみなければわからないことはたくさんあります。積極的に高校に足を運んで、自分の目で確かめてきてください。

☆ 自分について考えてみよう

これまで多くの3年生と出会ってきました。面接練習で志望理由をたずねると決まって、「〇〇高校が自分に合っていると思ったからです。」と答えていました。じゃあ「自分のどんなところが〇〇高校の何にあっているの?」と聞き返すと、答えられない人もまた、大勢いました。そこで、次の3つのことについて考えてみましょう。

○ 自分を知る

・あなたはどんなことに興味・関心がありますか。

・あなたの強み(能力・適正)は何ですか。

能力:行動力,企画力など

適正:責任感が強い,発想が豊かなど

・どんな高校に行きたいですか。